



empublic Studio レポートⅡ

2022年10月～2023年10月

<https://empublic-studio.jp/>

2023年10月にempublic Studioは2周年を迎えました。これもひとえに、ご参加いただいているメンバーのみなさまのご協力、ご支援があってこそとスタッフ一同、深く感謝しております。本当にありがとうございます。

このレポートでは、この1年間の動きをふりかえり、empublic Studioの全体的な動きを共有させていただきたく作成しました。この1年は、メンバーの方と交流し、メンバーの方の声から動くことを大切にしてきました。今回、レポートには3名の方の声も掲載しています。また、新しい試みとしてラジオ型コンテンツの開発も挑み始めています。なぜラジオ？も含めて取り組みを紹介しています。ぜひ一度、アクセスもしてみてください。

レポートをお読みいただき、日頃なかなか参加できていないとお感じの方は活動内容を再発見していただき、「参加してみようかな」「アーカイブ動画を見てみようかな」と思っていたいただければと思っています。コンテンツ、アクセス方法などご不明な点はお気軽に事務局までご連絡ください。また、参加いただいている方は「こういうプログラムあったな」と思い出していただくきっかけにしてください。以前のワークショップでまた開催希望のリクエストも大歓迎です。

empublic Studioのは“**自分を活かし、自分の組織・地域の良さを活かして、未来志向の良い状態へ、変化を起こしたい!**”という思いを持ち、様々な地域、分野で活動している方にとって役立つ **プラットフォーム**”を目指して始めました。私としては、まだまだ道半ばだと感じており、次の一年でさらに先に進めたいと考えています。まだまだ試行錯誤が続くところもあると思いますが、より参加しやすく、「思いのある誰もが動き出せる社会」の実現に向けての挑戦に、引き続き一緒に取り組んでいただければと考えております。

重ねて、この一年のご参加に感謝を申し上げます。引き続き、よろしく願いいたします。

2023年10月30日

エンパブリック代表 広石拓司

目次

	page
【講座&ワークショップ】	
・ シリーズ 未来志向アクセラレーター	2
・ シリーズ コミュニティづくりの新しい視点	3
・ シリーズ スキルアップ!	4
【Studioメンバー発案のひろば】	
・ 孤独・孤立を考えるひろば など	5
【定期開催プログラム】	
・ Studioワールドカフェ	7
・ マンスリーふりかえり会、ちょこっとアンラーニング@ランチタイム	8
【メンバー向けワークショップ】	
・ ワorkshopのひろば	10
【ラジオ型コンテンツ】	
・ empublicの考えるラジオ型コンテンツの可能性	11
・ Studioラジオ Find the Question	12
・ empublicの一語一歩 ほか	13
★スタジオ・メンバーからのメッセージ	
・ ワタナベトシユキさん	5
・ 兼松明日佳さん	6
・ 田中咲子さん	8

3年目の empublic Studioも、みなさんと一緒に創っていきたいと考えています。引き続き、よろしく願いします!

ワークショップ+アーカイブ動画、ワークシートも利用可能! ますます充実していきます

empublic Studioメンバー参加登録 募集中

年会費**4,840円**(税込)で、コンテンツ利用、セッション参加、講座やゼミへの割引参加ができます。参加登録はこちらから <https://empublic-studio.jp/entry>

お問合せは、info@empublic-studio.jp まで

1年経過した方は更新をお願いします。

カード決済の方は自動更新となります。年会費の期限が近づくとメールでご連絡します。迷惑メールに入る場合があります。ご確認ください。

empublic Studio レポートⅡ 2022年10月～2023年10月

発行日: 2022年10月21日 発行: 株式会社エンパブリック
編集: 広石拓司、瀬沼希望、渡邊さや、新村絵美

シリーズ 未来志向アクセラレーター

empubliC
Make! by Ourselves
15th anniversary

これまでの延長線上にない、望む日常へ
跳ぼう！わたしから
跳ぼうよ！わたしたちで

未来志向の組織文化へ動き始めるには？

DXサービスの担い手育成、地域ビジョン構築の実践事例から考える

2023/05/30

新しい時代の新しい文化づくりに向けて、関係者の主体的な参加を促しながら取り組んでいるお二人の**実践経験**をお聞きました。

- ・森田紗代さん NECソリューションイノベーター株式会社
DX時代に“社内外で共に考え、共につくる組織風土”への改革を進めるため、社内コミュニティ、対話の場を広げる
- ・鈴木賢史さん 日野市 企画経営課 戦略係
日野市の2030ビジョンを市役所職員も地域の人も未来志向で考え続けるための“問いかけるビジョン”として作成し、展開

empubliC
Make! by Ourselves
15th anniversary

これまでの延長線上にない、望む日常へ
跳ぼう！わたしから
跳ぼうよ！わたしたちで

どうしたらみんなで跳べるかな？

未来志向の新しい考え方を広げ、メンバーと共に変化を起こす！

組織・地域のトランスフォーメーションを促すリーダーシップとは？

Transformational leadership入門編

2023/06/27

チームや組織の変化を進めるリーダーには、自らが先を考えて物事を進めるだけでなく、メンバーに影響力を与え、行動の変化を促すことも求められます。リーダーメンバーの気持ちを理解し、未来への刺激や新しい視点を伝えてモチベーションを高め、新戦略への参加を促すようなリーダーシップのあり方＝トランスフォーメーション・リーダーシップ (Transformational leadership) の考え方を考えました。

empubliC
Make! by Ourselves
15th anniversary

これまでの延長線上にない、望む日常へ
跳ぼう！わたしから
跳ぼうよ！わたしたちで

変化や大きな問題を“他人事”にしないビジネスパーソンを増やすには？

～世界競争力35位の時代の日本ビジネスに求められるグローバルシティズンシップとは？

佐藤真久 東京都市大学大学院 環境情報学専攻教授

広石拓司 株式会社エンバリック代表

2023/07/11

サステナビリティや人権がビジネスのテーマになり、ビジネスの前提やルールも変化する時代、ビジネスパーソンには世界で起きていること・これから起きうるリスクに向き合い、高い視座からビジネスも自分自身も見直していくことが求められます。ビジネスと市民性の切り離しを乗り越え、世界の変化と向き合う“グローバルシティズンシップとは？それをどう活かせばいいか、UNESCO業務の経験も豊富な佐藤真久さん（東京都市大学教授）と参加者のみなさんと一緒に考えました。

empubliC
Make! by Ourselves
15th anniversary

これまでの延長線上にない、望む日常へ
跳ぼう！わたしから
跳ぼうよ！わたしたちで

みんなで“ゼロカーボンのまち”を実現するには？

～SDGs先進都市 下川町が挑む！住民との協働による脱炭素の進め方

ゲスト
麻生翼さん NPO法人『森の生活』代表理事
山本敏夫さん 下川町役場

シリーズ 未来志向アクセラレーター

2023/07/21

脱炭素への関心は高まっていますが、なかなか自分事として捉えにくいもの。まちをあげてSDGsに取り組んできた下川町で動き始めた地域での対話を通して、これまでの暮らしや仕事を見直し、新しい時代への変化を進める動きから、カーボンニュートラルへの人々の参加を促す方法を共に考えました。

<ゲスト>

- ・麻生翼さん (NPO法人『森の生活』代表理事)
- ・下川町役場 山本敏夫さん

empubliC
Make! by Ourselves
15th anniversary

これまでの延長線上にない、望む日常へ
跳ぼう！わたしから
跳ぼうよ！わたしたちで

人的資本戦略が、地域に今、なぜ大切なのか？

社会課題解決を進めるための人的資本論 入門編

2023.10.2 Mon

シリーズ 未来志向アクセラレーター

2023/07/21

意欲的な取り組みが行われても、頑張る人がいても「地域の人」が無関心で、積極的に協力しなければ、効果的な成果は生まれません。変化を生み出す仲間として、未来志向で「地域の人」を考え、個々人を活かせる地域を実現するため、意欲的な人を選ばれ、参加しがいがある地域を実現するため、ビジネスで広がっている「人的資本経営」の考え方を地域に応用して活用する考え方、進め方を紹介しました。

empubliC
Make! by Ourselves
15th anniversary

これまでの延長線上にない、望む日常へ
跳ぼう！わたしから
跳ぼうよ！わたしたちで

違いや多様性をポジティブに活かし、誰もが自分らしくチャレンジできる社会・組織を実現するために、今、理解しておきたい“DEIB”のこと

Diversity + Inclusion + Equity + Belonging

シリーズ 未来志向アクセラレーター

ダイバーシティ&インクルージョンからDEIB (Diversity, Equity, Inclusion, Belonging) への変化をコミュニティ・デザインの視点から理解しよう

2023/11/14夜&16午前 2回同内容開催

「多様性を大切に、一人ひとりが活き活きと働ける組織・暮らせる地域」という概念は多くの方が賛同し、様々な制度も始まっているにも関わらず、「そうになっている」と言い切れない状況も続いています。そんな中、「ダイバーシティ (Diversity)」を進めるには、Inclusion (包摂)、Equity (公正さ)、さらにはBelonging (帰属意識) という「DEIB」が大切だという考え方が最近、広がり始めています。その背景と実践方法をコミュニティ・デザインの考え方をういて考えます。

シリーズ コミュニティづくりの新しい視点

**利用者がどんどんチャレンジを始める
コミュニティ拠点の場づくりとは？**

ラボ型コワーキングスペースの運営と
ローカル活動支援のファシリテーションを学ぼう

2023/5/12~14. @茅ヶ崎市

茅ヶ崎市のコワーキングスペース、チガラボでは「自分のしたいこと」を地域の人との協力を得ながらマイ・プロジェクトとして立ち上げるTAKURAMIが6年間で140件以上、始まっています。

合宿形式で、チガラボの場づくりを主宰者の清水謙さんに伺うと共に、地域の現場、参加者の方々との交流、チガラボのイベント参加を通して考えました。

ビジョンを継続的に共有しながら、地域の人を信じ、場に解決を任せる清水さんの運営を基に、地域の人が自分の出番！と考えて動き出している姿を体感できたことは、東京・名古屋・金沢からの参加メンバーの活動に大きな影響を与えています。

コミュニティデザインを学ぶ／教えるとは

人と人がつながり、アクションを始めるプロセスのデザインを
跡見学園女子大学コミュニティデザイン学科の実践をヒントに考える
ゲスト：土居洋平跡見学園女子大学コミュニティデザイン学科准教授

**“共に生きるまち”の実現に
学生や大学は何ができるのだろうか？**

文京学院大学まちづくり研究センター（まちラボ）の
古市太郎さんと考えよう

2023/5/24&31 土居洋平さん（跡見学園女子大学コミュニティデザイン学科）と古市太郎さん（文京学院大学まちラボ）と「コミュニティ×学生」から見える、現代のコミュニティづくりの課題と可能性を考える講座を2回シリーズで行いました。学生も地域の人でも「自分のしたいこと」から始まり、関わる中でそれぞれが自分を少しずつ開いていく中でお互いの「できること」が見えてきた時に「立場を超えた協力」が始まります。学生という他者にコミュニティが向き合うことに、コミュニティを開く多くのヒントがあると気付きました。

市政を箱推しする2人の視点をヒントに考えてみよう

まちのことを、もっと楽しく、
ポジティブに話してしまえるには？

対話「まちを自分たちの手に取り戻すには？」Vol.3

**フォルケホイスコーレで学んだ「自分の思いを知り、相手と分かち合うこと」の大切さ
～デンマーク留学経験者が考えた対話の可能性**

2022年10月26日（水）20:00～21:30 @オンライン

2023/3/7

国分寺市の諏訪玲子さん、長野県上田市の吉澤茉帆さんが、市民の立場で市政や地方政治に関する活動をしているのは、もっとよくなる！共に成長したい！という“箱推し”の感覚なのでは？と盛り上がったことをきっかけに始まった対話。もっと地域の政治行政を楽しんでいいんだ！と思いました。

2022/10/26

デンマークのフォルケホイスコーレに留学していた横山覚さんが、そこで感じた自分に向き合い、人に向き合うことの大切さ、対話の意味を紹介し、それを基に参加者で対話しました。

「対話を楽しめる“余白”が必要では？」という話から、北欧の余白を楽しむ“ヒュッグ”という文化への共感が広がりました。

**地域で活動を広げるために
スポーツの価値を活用するには？**

2022/12/21(水)
19:00～21:00
オンライン開催

**部活動の地域移行を
“まちづくり”のチャンスとするには？**

～スポーツやアートを活かして、中高生にも、地域の人にも
“まちとの関わり”が広がる仕組みを共に考えよう

2023/3/7

金沢で子どもの第3の居場所づくりに取り組む仁志出憲聖さん（ガクトラボ代表）、久保田の対話に「クラブのツエーゲン金沢の灰田さんも参加し、地域の課題解決とスポーツクラブはどう連携できるか、共に考えました。

2022/10/26

政府が推進する「中学生の部活動の地域移行」を実践するには、単に技術指導だけでなく、生徒の見守りやサポートなど幅広い要素が必要であり、地域の力が不可欠です。現場に携わる久保田の問題提起から対話が広がりました。

シリーズ スキルアップ!



対話と参加・協働を進めるファシリテーション
& ワークショップ・デザイン

2022/12/4

- 1) 声を「聴く」から対話・参加を生み出すファシリテーション
- 2) 参加型の学びと対話の場の設計方法
～ワークショップ・デザイン

場づくり講座を2部制で集中開催

子育てしながらの働き方・キャリアを考える
「対話ワークショップ」の作り方

育休後カフェ®
ファシリテーター講座(第10期)

誰もが自分らしく活躍するためのコミュニケーション方法を学ぼう!



2022/11/20

子育てをしながらの働き方・キャリアについて考える参加型対話ワークショップを開催する知識やスキルを学べる講座を育休後カフェ®主宰 山口理栄さんと共催

2022/11/22 & 12/6

- 1) 生涯探究を深め、実践につなげるためのWW型探究モード
- 2) 協働・学び・実践の相乗効果を生むソーシャル・プロジェクト

経済社会が大きく変化する中で仕事を進めるにも、人生100年時代にマルチステージを生きるためにも、「探究」は生徒だけでなく、ビジネスパーソンにもベテランにも不可欠です。「思考と経験、帰納と演繹を往復するWW型探究モード」と「協働・学び・実践をつなぐソーシャル・プロジェクト」を軸に、生涯に渡る「探究」の学び方、進め方を考えました。
<ゲスト> 佐藤真久さん(東京都市大学教授)



佐藤真久 広石拓司

大変革時代をポジティブに生きるための

生涯探究の学び方、つながり方とは?

～ポジティブな変化を自分にも組織・社会にも起こすために

22/10/31、11/7 Mon 19:30～ 全2回



2022/11/22 & 12/6

- 【1】 問題解決を急ぐ前に、問題の構造を考えよう
 - 【2】 持続可能な地域・社会の実現に向けて何ができるか考えよう
- 社会・地域・組織にポジティブな変化を生み出すために不可欠な複雑な問題の中にあるつながりから問題の構造を理解する「システム思考」の基本的な考え方、進め方を解説。



2022/11/29、12/13、23/1/10、2/28

システム思考のループ図を描けるようになるため、もっと練習したいが一人では難しい。そんな声から、ループ図を描く練習ができる会を開催しました。またテーマについて一緒に考える時間も設けました。

- ・環境問題の理解度と環境負荷の関係性とは?
- ・世の中にコーディネーターを増やすには?
- ・公共交通機関の利用率を上げるには?

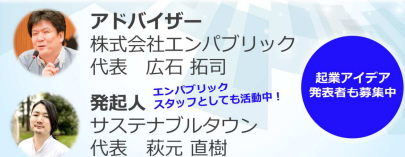


2023/6/29、7/1、6、

9「自分の考えていることで起業できたら」「こんな仕事ができたら最高だけど」という自分の思いを5つの質問から言葉にして、起業アイデアとしてまとめてみるワークショップをメインファシリテーターが渡邊さやを務めて実施。
東京都起業コンテスト「TOKYO STARTUP GATEWAY」協賛企画

起業アイデアを考え合うのはおもしろい♪
Start-upアイデアを
empublic Studioで考える会

9月5日(火) 20時～ONLINE開催



2023/9/5

起業アイデアワークショップの続編企画として「TOKYO STARTUP GATEWAY」の1次選考通過者を中心に、自分の起業アイデアを持ち寄り、お互いにコメントしあい、アドバイスをもらう交流会を開催しました。

孤独・孤立を考えるひろば



テーマ一覧 2023年2月～10月

- 2月 孤独と依存～依存症の特効薬は「こんにちは」だった
- 3月 孤独×居場所～居場所とは何だろう？
- 4月 作戦会議：今、孤独の何について話したい？

シリーズ「マズローの欲求5段階説から考える孤独」

- 5月 孤独と怒り（諦め）
- 6月 孤独と家族（職場・学校）
- 7月 孤独と居場所～なぜ居場所がそんなに注目される？
- 8月 作戦会議2：全6回のふりかえりと次回以降のテーマ決め

シリーズ「つながりから孤独を考える」

- 9月 なぜ近所づきあいなど地縁コミュニティに入りづらいの？～つながりのダークサイド(毒)から孤独・孤立を考えよう
- 10月 つながりとサバイバル～心理的・身体的・金銭的に生き抜くためのつながりは？

依存症を経験したワタナベさんの「社会問題としての孤独・孤立について、他の方はどのように考えているのか知りたい」という思いからスタートしました。その思いに共感し、様々な立場、場面で「孤独」の問題を考えていたスタジオ・メンバーが集まり、月1回の対話を行っています。

「孤独」には多面性があること、それぞれの立場・視点での経験を尊重し合うこと、孤独を感じる人の気持ちに寄り添おうとすること、様々な状況、視点を持ち寄ることなどを大切に、問題を丁寧に話し合う場とすることを心掛けて運営しています。

参加者の多様性を活かすために、対話のテーマ自体を作戦会議でメンバーと考え、そこから3回1セットの対話テーマを決めて、対話を進めています。

第1回はワタナベさん自身の依存症体験と「孤独」について考え始めた経緯を、第2回は鍼灸師であり、自殺対策NPOにも参画されている兼松さんが感じる現代の孤独を紹介いただき、第3回、先ず何を深めるか話し合いました。

「なぜこれほど“居場所”への関心が高いのか」という問いから、所属、安全、食など基本的な欲求が満たされていないのかもしれないと考え、対話を展開しました。親密さへの期待があるのに、頼れる先を見つげづらく、存在を受け止めてくれる関係が足りないのでは？という話から、「つながり」とは？と問いが深まりました。

つながる意味を理解しながら関わりにくい具体例として、ご近所付き合いについて対話しました。多様なサービスもある中、「つながらなくても生きていける」感覚が広がっている。ただ、それは本当？という視点から「つながりとサバイバル」のテーマへと展開しました。

主宰者 ワタナベさんに聞く、「ひろば」を始めて感じたこと

Q. 「孤独・孤立を考える対話のひろば」を始めてワタナベさんの中で変化はありましたか？

僕は「孤独問題研究所」を立ち上げているのですが、対話のひろばを通して、そのミッションが変わりました。当初、孤独は悪いものと考え、「孤独をなくす」がミッションでした。しかしこの対話のひろばを通して孤独のプラスの面を知り、ミッションを変更しました。また参加者の皆さんが実体験を下にお話されるので、多種多様な視点で対話が進み、一人で考えては絶対思いつかない視点が生まれています。そのため結果としてとても話が深まっていき、予期せぬ対話の内容に毎回すごいなあと思っています。

Q. 「孤独」についての気づきもありましたか？

つながりがなくても良い社会を、僕らは作っているんだということです。僕らの欲求が未来を作っているの、そこで失っているものがあるんだと。参加者のヨシさんが「昔に比べ「言葉」を失っている」。お店などでも挨拶をしなくても良いし、挨拶しなくても生活できる社会になっているんじゃないか。また別のメンバーが「家族も居場所」と話され、そこから「マズローの欲求5段階の基盤が揺らいでいるのでは？」と、「マズローの欲求5段階と孤独シリーズ」が始まりました。参加者の方が盲点となっている点を指摘していただき、対話の中で次の展開につながっています。このひろば自体がエンパブリックスタジオが目指す、エンパブリックサイクルになっているなど感じています。

Q. この会が続いているのは、「孤独」についてワタナベさんが問いかけ続けているのが、大きいと思うのですが？

継続的に参加しているスタジオメンバーがいるのが要因だと思います。最初は僕の呼びかけですが、第2回に兼松さんの話を聞いて話が広がり、企画会議をすることになりました。僕が探究しているというのもありますが、スタジオメンバーの皆さんと一緒に探究してきていると感じています。

またゲストで招いたカメラマン（高千穂コメ100俵運動）と医師（在宅診療・ノビシロハウス運営）がメンバーとは違った視点で参加していただき、面白い対話のひろばになっていると感じています。

孤独や自殺の話題は、お堅い感じになりがちですが、ミュージシャン（尾崎豊、セカオワ）や文化的な話（民族）、オタク（アニメ・アイドル）の視点で面白おかしく対話を進めている点はエンパブリックならではの感覚だと思います。この会が続いている要因ではないでしょうか。

Q. この会のこれからは？

孤独・孤立のテーマは、生物、文化、社会システムなどいろいろな要素が複合しているの、参加者の皆さんの発案を頂きながら、多様な視点で深掘していけたらと思っています。またゲストをお呼びして話が出来たらと思っています。

なぜ私は「それを実現したい」のか？

私と活動・仕事のルーツを語ってみよう

多様な人の意見から自分のアイデアを磨くには？

『ワールドカフェ』の活かし方を考えよう

自分の言葉で何をしたいか伝えるには？

プレゼン・ホームページの代表者メッセージを作ろう

Studioメンバーの兼松明日佳さんが鍼灸マッサージ院の経験を活かして、新しい場をつくるにあたって、「色々伝えたいことがあるけど、うまくまとめられない」という相談をいただきました。そういう思いを持つ人は多いのでは？という話になり、自分のメッセージをまとめ、ワールドカフェで問いかけ、その上で「代表者メッセージ」をまとめるという全7回の連続ワークショップを開催しました。

兼松さんに聞く、「ひろば」を通して感じたこと

エンパブリックに参加してみなさんとお話していく中で、互いを尊重したり、否定せずに受け止め合う姿勢を感じ、この方たちになら安心して話せそうだなあ。何かいい気づきを得られそうだなあと感じたため相談をしました。

ただ、自分の経験なんて、誰かの役に立つのだろうか、という疑問や不安がまだ少しあったのですが、たったひとりででも響くことがとても大切で、そこから広がっていくこともあるのかもしれないと感じました。自分の弱さや生きづらさのおかげで、こうして形にしていけるものがあるのだと思って、少し感動しています。

「自分から声を出す」ということも、昔の自分なら考えられないことでしたが、大人になって世界が広がり、自分を少し客観的に見られるようになったのだと感じます。そして何より、温かく見守ってくださったエンパブリックのメンバー、スタッフさんのおかげで、つくりあげることができたのだと感じています。自分から声をあげる勇気をいただきました。本当にありがとうございます！

Q. 代表メッセージへの反響はありましたか？

代表メッセージをSNSに投稿したところ、直接的な効果というよりは、他の投稿よりも見ていただける数がかなり多く、以下のようなコメントもいただきました。

「短い言葉なのに様々な場面が散りばめられていて感動します。人とつながるって難しいけど、でもそうせずにはいられないのが人ですね。貴重な場所をありがとうございます」「自分の役割をおろして一人の対等な立場にいることって素敵だなあと思いました」

スタジオ図書館 2023

本の可能性を考えた！

集まれ！企画・仲間大募集

「本」を通してのコミュニケーションを楽しみたい。どんなことができるか色々試したい！という方が集う毎月1回の交流会です。

「読みたい本のタイトルをあげて、そこから自分が今どんな知識を必要としているのかを自己分析する」など、本を使うことで、どんな交流ができるか、集まったメンバーでアイデアを出し合い、実際にトライしています。初めての方も参加しやすい会ですし、本を使った交流を始めてみたい方のヒントにもなっています。

2023年10月からは「スタジオメンバーおすすめの本を読もう！」をテーマに、本を通してメンバーの方の関心事を知り合う場を開催します。

これまでのスタジオ図書館の企画>

- ・ペライチ・シェア会～本の関心ポイントを1枚の紙で紹介
- ・私の積読本紹介
- ・プレ読～好きな本をプレゼンする読書会
- ・もち読～モチベーションに関する本を持ち寄ってみよう～
- ・読みたい本のタイトル大収穫祭！
- ・詩をたしなんでみようの会
- ・『愛』についての作品を持ち寄って話そう！

ビジネスや社会活動のための

ソーシャルスキルと Social & Emotional Intelligence の基礎

(社会性・感情に関する知性)

人づきあいや気持ちを上手に扱う「技術」とは？

empubliC Member by Openhouse

これまでの経験と新しい学びの場を、集まろう！の心から語ろうよ！わたしたちで

23年10月～スタート！ ソーシャルスキルを広げるには？

Studioメンバー田中咲子さんと一緒に、「自分の思いに賛同する人を増やすには？」「仲間やチームが力を合わせて動くには？」「対話を楽しめる人を増やすには？」といった問題意識から、ソーシャルスキルについて考え、自ら学ぶだけでなく、**チームや組織にこの技術を広げていくための方法**を講座+ワークショップで一緒に考え、アウトプットを生み出す活動を始めます。

第1弾として10/17にソーシャルスキルやSocial & Emotional Intelligenceとは？、特に、関係性や感情を「技術」として扱うとは？について基本的な考え方を解説する講座を開催し、10/24にワークショップ「ソーシャルスキルにトライ！ こんな時、どうしたらいい？」を開催しました。

11月には**DEIBをテーマにした講座**(11/14)、飲み会とソーシャルスキルをテーマにしたワークショップ(11/28)を開催します。

Studioメンバー 田中咲子さんに聞く、Studioに参加して感じていること

スタジオ2年目に入る時に、もっとメンバーの方とお話をしたいなと思ったのです。そこで、マンスリーふりかえり会やワールドカフェもできるだけ参加しようと、ちょっと意識してみました。あとメンバーの方が行っている会やイベントにお邪魔してみたりもしました。みなさんがやってることへの興味関心があるのはもちろん大前提なんですけど、ここに来るとやっぱり同じ目線でお話ができる方がいるっていうのは、とてもありがたいなって思っているんです。

私は会社員をやりながら、自分の余暇時間を使って社会に関わっていくっていうスタンスなので、エネルギーチャージとしてスタジオを使わせていただいています。本業で色々あっても浄化されるというか、踏ん張れるんですよ、他のところで。もう一息みたいなエネルギーが絞り出せるようになるかなと個人的には感じています。メンバーのみなさんとお互いにエネルギーを分け合ってる感じです。

そうやって参加する中で、やっぱり自分が積極的にやっついこうと手をあげていくっていうのが大事なんだなって改めて再確認できたのはとても良かったです。すごく積極的な人のように聞こえるかもしれませんが、手をあげるって慣れなんですよ、本当に。仕事でも最初の一步をやることに抵抗感がある人、世の中には結構多いのかなと思いますが、これも

慣れだと思うのです。最初の一步を何回やったかによって、どんどん軽くなっていく。スタジオには手をあげる、最初の一步を始めるということに、いいねとってくれる人が多くいるので、安心してトライできる。“初めの一步力”を鍛えるのにエンパブリックスタジオはとていいんじゃないかと思っています。

そんな中で、ソーシャルスキルについてワールドカフェでこのお話を提案してみることにしたんです。そこで話すことで、私が大事と思う考え方とは違う見方もあるんだって気がついた。私だけだとドドドってアクセル踏んでそのまま行っちゃいそうだったんだけど、違う見方に講座をやる前の段階で気がつけたはとても良かったです。

ただ、予想外の反応が返ってきたことはその場で面白いと思いつつ、実はその後2日間、ちょっと落ち込んだりもしました。ただ、そこからまた上がってきて、改めて面白いと思えて、だからこそぜひ皆さんと一緒にやりたい！というふうに思えたんです。これも慣れかな、自分の考えと逆を言われるのに、どう向き合おうか。

それも含めて、自分の意見をパブリックに出す経験ってとても大切だと思ったし、出して話すからこそ仲間ができるのはエンパブリックサイクルだなと思ったのです。

マンスリーふりかえり会



ちょっと立ち止まり、**自分の1か月をふりかえる時間**を持ちませんか？

毎月最終木曜 20:30～

毎日、様々な仕事や活動に追われていると「これが終わったら次！」とどんどん前に進むことが重視してしまいがちです。時には立ち止まって「あのときどうしたらよかったんだろう？」と考えたり、「あの時の自分はいい動きをしたな！」と自分の行動を素直に喜ぶ時間もつくってみませんか？

「マンスリーふりかえり会」は、毎日忙しいメンバーのみなさんとスタッフがこの1ヶ月をふりかえり、考えたことを言葉にすることで、次の1ヶ月に向けて自分のエネルギーや気持ちを整える時間です。あつという間に1か月が過ぎた！今、時間も余裕もない！という方にこそ、月1回90分、改めて自分を考える時間をとっていただければと思っています。

毎月最終木曜20:30～22:00開催

〈参加者の方からの声〉

- 毎月やると区切りがついて整理がついてくる
- 忙しくて出るのやめようかなーと思いつつ出てみたら、自分のことを話す中で色々整理ができた。これが意味か！と。
- 取り組んでいる事柄が違ってても共通している思いがすごくあると思うので、ほかの人のふりかえりを聴けることはすごく参考になった！
- マンスリーふりかえりに毎月出てると、どんどんふりかえりがたまって「自分も結構やってるじゃん♪」と思える

＼毎週水曜日12:15～12:45開催／

ちょこっとアンラーニング

今週のエンパブTOPIC



コーディネーター
渡邊はや



エンパブリックSTORE店長
新村結美

2023.5.24

“学び”というと、時間をかけてしっかりやらないといけな思考えがちですが、しっかり学ぼうとするほど、動きが遅くなりがちです。週1回30分、新しいことに出会ったり、日常とは違うことを考える機会にさせていただけたらと思っています。毎日忙しい今の時代だからこそその学び方を皆さんと体験・探求できたらと思います、ランチに開催しています。

ただ、平日お昼はお仕事という方も多いと思いますが、お昼休みに食事しながら、移動しながら聞くだけで参加する方もいらっしゃいます。途中の入退室も歓迎ですので、時間の隙間ができた時にのぞいてみてください！

ランチトークは、10/25(水)で100回目を迎えました(やったー!)各回のテーマは私たちも1人のスタジオメンバーとして、「あのイベント気になってたけど参加できなかったな～」「ちょっとスキルアップしたいな」「最近仕事でここにつまづいた！」など、日々感じることから、Studioのアーカイブ動画を改めてみたり、手法にトライしたりしています。

これからは、もっとみなさんが改めて考えたい・知りたいことをStudioコンテンツやエンパブリックのリソースなどつなげるような場づくりをしていけたらと考えています。

「こんなこと知りたい」「こういう内容ってある？」などお気軽に事務局までご連絡ください！

毎週水曜日12:15～12:45開催

毎週1回30分ランチ時間の使って、今スタジオで取り上げられている話題を紹介したり、日々の仕事や活動の中で知りたい・やってみたいと思ったテーマをちょこっと学びほぐす時間です。

【2023年（～10月25日）】

- ランチトーク100回記念！「なんでランチトークは100回続いたんだろう？」
- 動画を見よう回「政府の進める孤独対策って？～気になることを対話する」
- パーソナリティ3人が話す！「なんでエンパブが『ラジオ』やってるの？」
- 動画を見よう回「人的資本戦略が、地域に今、なぜ大切なのか？」
- グラレコ自主練回「ファシリテーター入門③ファシリテーターとは」
- 動画を見よう回「DXに不可欠な『社内起業家(イントレプレナー)精神』って？」
- ミニワークショップ「ライフチャートで考えよう！あなたにとっての居場所ってどこですか？」
- 5つの質問で聴こう！「行政と住民と一緒にプロジェクトを進めるには？」
- 動画を見よう！「地域に学生が関わる意味って？」
- グラレコ自主練回「ファシリテーター入門②ファシリテーターとは」
- アイスブレイクにおすすめ！「対話型鑑賞(Visual Thinking Strategies)」
- 「ソーシャル・プロジェクトを成功に導く12ステップ」を読み解こう！
- 動画を見よう回「自分の街の特性を活かした持続可能な地域のテーマってなんだろう？」
- 5つの質問で聴こう！「都心でコミュニティをつくる意味って？」
- グラレコを使って情報を伝えよう！
- ChatGPTを本気で使ってみよう！「SDGsへの理解が深まるトークテーマを教えてください！」
- 動画を見よう回「これからのあなたのチームに必要な『リーダーシップ』って？」
- 動画を見よう回「自分の“思い込み”にどう対処する？」
- 事例から学ぼう！「『アウトカム(成果・効果)』を見失わないためには？」
- 図に落とし込んで整理してみる～グラレコにトライ！～
- 動画を見よう回「"グレートリセット"から考える、コロナ後の価値観の変化って？」
- 自分の「得意」がどんな人の役に立つのか、デザイン思考で考えてみよう！
- 動画を見よう回「境界を超えて共感を呼ぶストーリー・デザイン」
- 自分の内面と向き合う「対話型鑑賞(Visual Thinking Strategies)」
- 動画を見よう回「コミュニティの活性化にメタバースを活かすには？」
- 動画で予習「4つの学習モデルと学びの作戦変更」
- 動画を見よう回「新しいことを始めるなら、まず4人のチームをつくろう！」
- テーマトーク「もし宝くじ3億円当たったら、今の活動・仕事を続ける？」
- 詩をたしなみでみよう「ぼくがここに(まど・みちお作)」
- はじめてのグラレコ(グラフィックレコーディング)！
- テーマトーク「哲学カフェであなたが話してみたいテーマは？」
- 動画を見よう！「rediness for 2025」を見よう！
- テーマトーク「自分がもし講座をするなら、どんな名前にする？」
- 動画で予習しよう！「地域で活動を広げるためにスポーツの価値を活用するには？」
- もくもく読書会「地産地縁vol.2を読もう」
- 30minワークショップ「対話型鑑賞を体験しよう！」
- 動画を見よう「#12 地域包括ケアシステムから考える場づくりのポイント」
- 第5回メンバーさん、ごきげんよう！
- テーマトーク「地域でエンタメの力をめいっばい活かすには？」
- 動画を見よう！「Shall we コンコーダンス？」
- 今年の自分おみくじを作ろう！
- 今年のふりかえり

【2022年】

- 今年もやるよ！スタジオ忘年会
 - 対話型鑑賞の会「絵を見て話そう！」
 - 動画を見よう回「ワークショップって何？」
 - テーマトーク「コロナ禍を経て改めて考える『宴会』って必要なの？」
 - 「ワールドカフェ」って何？
 - スタジオパンフレットをみる
 - メンバーさん、ごきげんよう！
 - エンパブリックSTORE商品紹介！
 - 動画を見よう！「より良い問いかけ」を行うには？
 - 30分でエンパブリックスタジオ説明会
 - メンバーさん、ごきげんよう！
 - 動画を見よう！「SDGsの促すサステナビリティシフト」
 - エンパブリックのインターン生って何したいの？
 - 動画を見よう！「100分deエンパブリックスタジオ」
 - メンバーさん、ごきげんよう 第2回
 - ゆるっと討論【究極の3択「好きなことだけど毎日仕事？好きじゃないけど週休3日？」】
 - ランチトークのふりかえり
 - 「変化を生み、アクションを促す ストーリー・デザイン」最終回前にアーカイブ視聴！
 - 対話型鑑賞会「みんなで絵を見ながら話す」：久保田
 - 「変化を生み、アクションを促すストーリーデザイン」の第1回目の動画視聴
 - スタジオがもっと使いやすくなる？！“クラブ”ってなあに？
 - 「スタジオフォーラム探検隊」
 - 「2025年の社会とビジネスを預言する」の第1回動画視聴
 - 新企画「メンバーさん、ごきげんよう！」
 - 新村・渡邊のおすすめプロジェクト紹介
 - 「萩元直樹の住民主体の地域づくりch」動画視聴
 - エンパブリック14周年記念switchインタビュー（広報：新村絵美×取締役：淵上周平）
 - 「華金ピッチ」でなにができる？
 - 「スタジオの未来って？」を覗よう！
 - みなさんの「最近やる気スイッチが入った&入れた話」を聴かせてください
 - 今年やってみたいこと・野望を話そう
 - 対話型鑑賞会「みんなで絵を見ながら話す」：新村
 - アーカイブ動画「ふりかえりを考える」を視聴
 - コミュニティカ診断シートを使ってみよう
 - 対話型鑑賞会「みんなで絵を見ながら話す」
 - 理学療法士としての専門性を活かしながら、府中のまちにコミュニティを作る活動をされている糟谷さんの動画視聴
 - 「問いかけカード」を使ってみよう！
 - 有賀達郎さんのマイストーリー「ローカルメディアを通して、つながりを生み出す」の動画（My storyingDay第2弾！）
 - 事務局のバックヤード「エンパブリックスタジオのアンケータってどうやって作ったの？！
 - 冊子「共に考える講座のつくり方」を使ってみた時のポイントについてスタッフが話している動画を一緒に覗よう
 - ソーシャルビジネス事例分析会に向けて、「ソーシャルビジネスの事例分析の仕方」の動画視聴
 - スタジオ図書館(仮)第1回MTGの直前企画！「スタジオで図書館を作りたい！」と声を寄せてくれた方々の心を聞こう
 - 「ソーシャルビジネスの事例分析の仕方」に向けて、動画で予習しちゃおう！（なぜ、ソーシャルビジネスなのか？：ソーシャルビジネスの基礎<序>）
 - 今年の目標・やりたいことを話そう！
- 【2021年】
- empublic Studioの隠れコンテンツを発掘しよう
 - 望年会のふりかえり動画を視聴
 - 知ってるコーディネーターを出しまくる30分
 - 対話型鑑賞会「みんなで絵を見ながら話す」
 - キャスターチャンネル「パパ編集者ふっちーのぶらぶら二重」を視聴
 - セッション「1年の振り返りを楽しく行うには？」の開催にちなんで、ふりかえりについての動画を流すオーディオコメンタリー風ランチ会
 - ランチトーク特別編「スタジオ動画初コンプリート?!の松永さんを囲もう！」
 - 議題なしのもぐもぐタイム！
 - 初めてのランチトーク

ワークショップのひろば

「対話ひろば」として、1時間ワークショップの多様な型にトライしました。関心あるもののリクエスト、歓迎です！

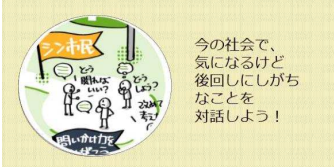
経験・思いを聴きあおう



問いかけカードを使って、自分のことを話してみよう！聴きあおう！

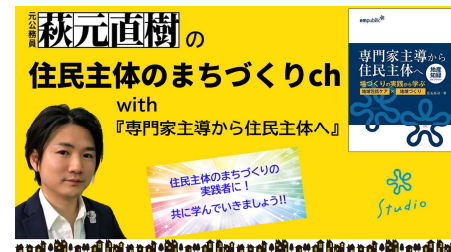
22年10月「自分の経験を話すことの意味って？」
23年1月「組織・会社の人を深く知る意味って？」

気になることを対話する



今の社会で、気になるけど後回しにしがちなことを対話しよう！

22年11月 リスキリング？人生100年時代に、いまなにをどう学んだらいい？
23年1月 なぜ日本の給与水準が上がらない？
23年4月 なぜ政府は孤独・孤立対策をするの？



地域活動支援を行ってきた秋元が書籍「専門家主導から住民主体へ」を読み込み、現場でどう実践できるか、著者の広石さんも交えて考える動画シリーズを作成

<https://empublic-studio.jp/4505>

- シーズン3（第3章を読む）
- #14 コレクティブインパクトからのヒントと六郷助け合いプラットフォーム
- #15 私たちは話し合うことに慣れていない!? ～場の準備と進め方
- #16 住民主体の話し合い続ける場づくり
- #17 第3章ふりかえり回
- シーズン4（第4章を読む）
- #18 専門家主導の住民主体は可能？
- #19 主体的な活動を育む学習プログラム
- #20 自主活動を促す心構え ～狛江市の2年間から学ぶこと
- #21 第4章ふりかえり回

活動ケース検討会



多様な現場の人が集い、日常活動で考えたことをシェアし、学びあおう！

22年11月 タノシニアン活動を多くの人に知ってもらうには？

22年12月 NPO法人トラソスの次の事業を考えよう
クラウドファンディングを事業化するには？

23年1月 団地コミュニティ再生の拠点づくり
泉北ラボ 宝楽陸寛さん

仕事づくり に、プレゼン



「こんなこと始めたい」「これって仕事になる？」自分の考える新しい仕事のアイデアを話してみよう！

22年11月 タノシニアン活動を多くの人に知ってもらうには？

22年12月 NPO法人トラソスの次の事業を考えよう
クラウドファンディングを事業化するには？

23年1月 団地コミュニティ再生の拠点づくり
泉北ラボ 宝楽陸寛さん

キャンパスを書こう

問いかけブレスト



こんな時、どう問いかける？を出し合い、問いかけ力を磨きあおう！

22年10月 SDGsを自分事とするための問いかけて？
23年2月 主体的な活動を促す問いかけとは？

2030年のビジョンを描こう



あなたの望む未来はどんなもの？これまでの延長線上にない2030年の社会・地域・ビジネスを描こう

22年11月 2030年に自分が住みたい理想のまちは？

23年1月 「FUTURE SELF」でめっちゃくちゃうまくいった未来の自分に会いに行こう！

一緒に考える

Unlearn アンラーン

「私の活動がより良くなるための学びって？」



秋元が「アンラーン」をテーマに原稿を書くことになったことをきっかけに、メンバーと「アンラーン（学びほぐし）」について考えました

- 第1回 「アンラーン(unlearn)って何？」
- 第2回 「アンラーンと一緒に学びほぐしてみよう！」
- 第3回 「アンラーン」の論文原稿をみんなでやいのしよう！



empublic Studio 望年会
オンライン交流会
話してみよう！
あんなこと、こんなこと

2022.12.17 ± 16:00～24:00

- ・「値段」って何？
- ・エンタメ社会課題
- ・デンマークの暮らしにある「余白」って？
- ・ワールドカップカフェ～見る/見ないの分かれ目？など

22年12月17日に午後から深夜にかけて、オンラインの「望年会」として「ちょっと話してみたいんだけど」という問いを持ち寄り、対話交流会を開催しました。23年は12月9日開催！

- おやつトーク「忘年会の準備をしよう！」
- 「値段」って何だろう？～empublic Studioワールドカフェ出張版
問い1) お年玉の金額やお小遣いの金額ってどう決める？
問い2) 自分が好きなものにはいくらまで出せる？
問い3) サービスや講座の価格ってどうやって決めている？
- empublic Studioラジオ「Find the Question」を聞いてみよう！
- Find the Question年末特別編
- エンタメから社会問題を学ぶには？～エンタメをヒントに、社会課題の伝え方、分かち合い方を考えよう
- ヒュッグ対話～デンマークにある「余白」を日本の暮らしや仕事に取り入れるには？～
- ワールド（カップ）カフェ ワールドカップを熱烈に応援する人と、まったく関心ない人のギャップは？
- 焚火（の映像）を見ながらチェックアウト

empublicの考えるラジオ型コンテンツの可能性

empublicでは、Studioラジオ「Find the Question」を始め、ラジオ型コンテンツの開発に、今、力を入れています。なぜラジオなのか、エンパブがなぜ行っているのか、改めてご紹介します。

○背景～新しい場づくりのカタチを探して

empublicが今、ラジオ型コンテンツにトライしているのは、**改めて新しいコミュニケーションのカタチを探りたい**ということがあります。

ラジオに注目した大きなきっかけは、Studioメンバーで、かつてコミュニティラジオFM西東京の社長もされていた有賀達郎さんが「コミュニティラジオは地域の人の出番づくり」と話していたことがきっかけです。有賀さんはFM西東京で地域の人が番組を持つことを重視していました。地域の人が番組を持つ、その番組に知人をゲストとして呼ぶことで出番の輪が広がり、地域につながりが生まれることを目指していました。その話からStudioでは「[メディアとコミュニティの幸せな相乗効果のつくり方](#)」という研究会が始まり、コミュニティメディアに取り組む方、FM西東京で番組を持った方の話を聞き、試しに番組づくり体験もしました。

それらを通して気付いたことは、既存の放送局とコミュニティメディアは、同じようなコンテンツを提供していても、目的やゴールは大きく違うということです。既存の放送局は「出し手＝聞き手（マス）」という構造が前提にある。しかし、一緒に街に暮らす人が出し手になることで、直接的に知り合わなくても「あの人のことを知っている」という状況が地域の中に生まれ、それが直接間接のつながりを生み、そこから地域の一員である感覚や地域のおもしろさへの期待にもつながる。それがコミュニティ感を育てるのです。

そこから、**コンテンツ提供を主目的とするのではなく、コミュニティ醸成を主目的としたラジオの可能性**を感じました。そんな時、「コロナ禍の中で、社内ラジオが広がっている」という記事も知りました。少し前はベンチャー企業で社長ブログが注目されていましたが、コロナになって職場で会えない中、“人の声”が注目されている。例えば新入社員の生の声が届くことで関係をつくりやすくなる、という記事でした。

この記事から、**コミュニティ醸成のツールとしてラジオを使う**ことへのニーズが高まっていることがわかります。そうならば、この分野は、コミュニティ醸成やファシリテーションに取り組んできたエンパブリックの知見が活かせるだろう。その可能性を探究していきましょうというのが、エンパブリックのラジオへのチャレンジの基になっています。

3番組のMCの考えるラジオの可能性

Find the Question 瀬沼希望

スタジオメンバーのみなさんのお便り紹介をメインとした番組なのは、お手紙が一番面白いコンテンツだと思うからです。みなさんが日頃考えていることには面白いことが多くて、その皆さんからもらうお手紙がそのまま面白くて、その面白さを伝えたいんです。

エンパブリックサイクルの最初は「自分の中のこんなことをやってみたいな」というアイデアを自分の言葉で外に出してみるってことなんですけど、この番組が「自分がこういう風に思ってます」「こういうことにモヤモヤしてます」と出せる場になったらいいなと思っています。お手紙にしようとする中で、日頃漠然と感じていることを「言葉にしてみる機会」としても使っていただけたらと思っています。

ある人のお手紙を読んで、それを聞いた別の人からお手紙をくれた時は、時間を超えてやりとりしている！と嬉しくなります。

また、ラジオネームという呼ばれたい名前を読むことで、自分のことをどこまで表に出すのかを自分で選べるっていうのも、自分の考えを表に出す練習の機会としてもいいんじゃないかと思っています。

お手紙、とっても楽しみにお待ちしております！

○ラジオの持つ5つの機能

ラジオ（型コンテンツ）には、下記のような5つの機能があると考えられます。

- 1) **面白い・役に立つコンテンツの提供**です。ニュースや有名人の話、芸能人の面白いトークなど面白いコンテンツを提供する。
- 2) **ラジオはお便りなど参加者発のコミュニケーション**が生まれやすい場です。ラジオって結構お便りを中心に話が進んでいき、お手紙を書く、読まれる楽しさがある
- 3) **ラジオは自分が話し手になりやすく、出番をつくりやすい媒体**です。YouTubeなど動画は情報量が多い分、作りこまないといけないし、ファイルも重くなる。音声だけのラジオは発信する側にとってより手軽に扱えます。
- 4) **コミュニティ内の情報共有の基盤**にもなります。文字よりも声の方が気持ちも伝わりやすくなります。イベントと一緒に参加していなくても、情報や人のことを知ることができます。しかも、アーカイブがあることで、自分の都合の良い隙間時間で情報にアクセスできます。
- 5) **時間を超えたコミュニケーション**もできます。ワークショップの魅力は、やり取りを通して他の人の考えに触れ、自分に気づき生まれることです。コミュニティを共有するラジオを通して、ゲストや投書から他の人の考えに触れたり、そこから自分でも考えたり、そこから投書を書いたりすることで、時空を超えたワークショップ的なやりとりを生み出せる可能性があります。

既存の放送局のラジオは、1)がメインですが、人気パーソナリティは2)のお便りを上手に活かしていて、それがラジオをパーソナルなメディアの雰囲気になっているのだと思います。コミュニティ醸成型のラジオに向けて、目的や特性に応じてどう5つの機能をブレンドするのがいいか、考えていきたいです。

アーカイブ音声

ラジオ型コミュニケーションの可能性を
よう（23年6月）[link](#)



3人が話すなんて
エンパブはラジオを
やっているの
（23年10月）[link](#)



empublicの一語一歩 長谷川奈月

私は前からパーソナリティしてみたいと思っていたので、それが実現して楽しく参加しています。ラジオはYouTubeやテレビと違って、ながら聞きができるので、例えば夜に洗濯しながら聞くとか、ご飯作りながら聞くとかもできるので、日常に入りやすいですね。同時に、情報が多すぎないので、聞きながら「そうだよ」「確かにな」など自分の脳内で会話もできると思うのです。そうやって、ちょっとした時に自分の今を見直せたりとか、客観的になって落ち着けたり、自分なりの考えを深めたりできると、ワークショップに参加できなくても同じような体験もできますよね。ですから、広石さんはラジオを通してみんなの生活をファシリテイトしたいんだな、もっとみんなの日常に入りたいんだなと思いつつ、ご一緒させていただいています。

信州まちむらラジオ 渡邊さや

地域活動の講座をしていると、講座内の限られた時間での活動紹介や情報交換だけでは、何をしているかなんとなくわかって、一人一人の話を深く話すのは難しいものです。番組を通して、その人が何を考えて、どんな背景や目指す姿があるか、講座の修了生同士や地域の関係者が知り合うきっかけを作りたいと考えています。聞いた人が「私と共感できる話をしている」「この人に会いに行きたいな」と思ってもらえたらいいなと思ってもらえたら嬉しいですし、そうやって別の地域で活動している人がつながっていく、新しい関係づくりのツールとなる可能性を感じています。

Find the Question



みなさんのメール、
つぶやきから始まる
ラジオ感覚の
トーク・セッション
MC：瀬沼希望

<https://empubli-cstudio.jp/12590>

毎週木曜12:15～12:45

Studioメンバー限定の公開収録@zoom

金曜20時～Spotifyにて配信 一般公開

<https://open.spotify.com/show/2BOE4UXIO5fLlabLvZAI46>

[5fLlabLvZAI46](https://open.spotify.com/show/2BOE4UXIO5fLlabLvZAI46)



まだ問いになる前のもやもやをみなさんから送ってもらいながら
みんなのつぶやきや思いを共有して自分の答えを考えていく
ラジオコンテンツです。

Q. どうして「Find the Question」なんですか？

empubli-cstudioでのキーワードの一つが「問い」ではありますが、問いを見つけるのはなかなか難しいもの。問いになる前の皆さんの経験やもやもやをまずは言葉にすることで新しい問いを一緒に見つけたい！という思いからつけました。

Q. お勧めポイントは？

みなさんからのお手紙がめちゃくちゃ面白いです！ラジオにお手紙を送って読んでもらうという経験をするとう他の人の投稿も気になってくる…。というワークショップで起こることを時空を超えて体験できるのでぜひ送りやすいコーナーにお送りください。

コーナー紹介

- ・普通のお便り（ふつおた）：日常の気づきや嬉しかったこと、最近の経験、なんでも送ってください♪迷ったらここへ。
- ・おすすめの一曲：曲を通してあなたのエピソードをお届け
- ・もやもやをのぞみへ！：もやもやしているけれどまだ問いになっていない出来事、気持ちをお便りしてください
- ・今週のおみくじ：メンバー作のおみくじを楽しむコーナー

お便りは
[こちらから](#)

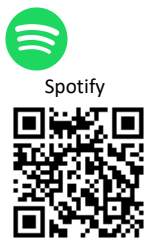


トークテーマ一覧 第1回（2022年10月20日）～第50回（2023年10月5日）

- 50 手紙を通して自分の言葉を表に出すことが信頼につながる（10月5日）
- 49 あなたの経験が必ず誰かの力になる（9月29日）
- 48 あなたが最近気になるスポーツチームは？（9月22日）
- 47 チームで仕事をする時にあなたが大切にしていることは？（9月15日）
- 46 あなたの青春の一曲は？（9月8日）
- 45 自分の仕事と他の人の仕事ってどうやって線引きするの？（9月1日）
- 44 必要だけど社会に足りないものを届ける。
ワークショップやファシリテーションに出会ったきっかけは？
*ゲスト：石本貴之さん（8月25日） 再生回数Best 3
43. 抽象的な概念を伝えるときに大切なアクションって？（8月18日）
- 42 自分の居場所と人生を重ねると自分の価値観が見えてくる？（8月11日）
- 41 あなたにとっての「居場所」は？依存先を増やすことで孤独を減らす（8月4日）
- 40 「相手の話を聞く」と「自分で意思決定する」の良いバランスって？（7月28日）
- 39 言葉の壁を越えて相互理解を深めるには？（7月20日）
- 38 あなたがパートナーシップで大切にしていることは？（7月14日）
- 37 他者の言葉から自分のアイデアを深めるには？（7月7日）
- 36 他者から見た自分はどんな姿だろう。あなたが自分らしくいられるときってどんな時？（6月30日）
- 35 目標がリーダーになる？あなたにとってのリーダーシップって？（6月23日）
- 34 予想外が起きることが成功？ワールドカフェの活用方法って？（6月16日）
- 33 ローカルなコミュニケーションツールとしてのラジオの意味って？
*ゲスト：あやさん（6月9日）
- 32 最近起こった『最初は無駄だと思っていたけれど、やってよかったこと』は？（6月2日）
- 31 心を通わせるコミュニケーションってなんだろう？（5月26日）
- 30 安心？役割？あなたが家族に求めているものは何ですか？（5月19日）
- 29 ツールがあるからこそ広がるコミュニケーションってなんだろう？（5月12日）
- 28 リアルな体験とバーチャルでの体験を繋ぐものってなんだろう？（5月5日）
- 27 自分の普通を疑う問いと関わり方って？（4月28日）
- 26 「知る」ことから始める
*ゲスト：ヨシさん（4月21日）
- 25 自分のメンタルブロックに気づききっかけって？（4月14日）
- 24 相手の話を聞くことで新しい問いが生まれる？対話で大切なことって？（4月6日）
- 23 春は出会いと別れの季節。「私って役に立ってる？」のもやもやとどう向き合う？（3月31日）
- 22 チャレンジするのはなんのため？（3月24日）
- 21 ロールモデルと出会うときってどんなとき？（3月17日）
- 20 自分軸を見つけないときに必要なことってなんだろう？（3月10日）
- 19 相手と向き合うときに心がけていることは？（3月3日）
- 18 反対の言葉から主体性を考える。主体性は爆発？（2月23日）
- 17 主体性はメンタルのスパイス？（2月17日）
- 16 安心して一人になれるってどんな状態だろう？（2月10日）
- 15 なにが重要なのか見極めて伝えるには？（2月3日）
- 14 empubli-cstudioってどんな場所？
*ゲスト：渡邊さやさん（1月20日）
- 13 お手紙を書くことの意味って？（1月13日）
12. 災害と自分とエンタメのつながりをどう考える？
*特別MC：渡邊さやさん&広石拓司さん（1月6日）
11. 日本の余白とヒュッゲの関係って？
*ゲスト：広石拓司さん（12月30日）
- 10 講座の値段ってどうやって決める？（12月23日）
- 9 エンタメを通して社会の課題を考える（12月16日）
- 8 ワールドカフェの楽しさってなんだろう？（12月9日）
- 7 問いってどうやってできるの？
*ゲスト：伴克子さん（12月2日）
- 6 心を開くときに必要なことって？（11月25日）
- 5 スタートレックのピカード艦長が師匠。あなたの人生の師匠は？
*ゲスト：広石拓司さん（11月17日） 再生回数Best 1
- 4 プライベートってどんな価値があるの？（11月11日）
- 3 ワークーションやリトリートで地域との関係性を深めるには？（11月4日）
- 2 フォルケホイスコーレでの学びと日本の可能性（10月27日） 再生回数Best 2
- 1 都市と田舎の未来の姿って？（10月20日）



SpotifyまたはApple Podcastで
毎週木曜16時に
新エピソードを配信



普段意識せずとも使っている言葉や、最近よく聞くようになった言葉を毎回1つ取り上げ、その言葉から見える今の社会で起きていること、これからの暮らしや仕事に活かせることを解説しています。各回15分程度の一般公開の音声番組です。

Q. どうして「一語一歩」なんですか？

時代が変わる時は“新しい言葉”も生まれますが“これまで使っていた言葉”の意味も変化していきます。今起きている経済社会の大きく変化を身近に感じ、考え始め、次の“一歩”を踏み出すきっかけとして、毎回一つの言葉（一語）を取り上げたいと考えたのです。

Q. お勧めポイントは？

長谷川奈月さんの軽快な語り口の質問やリアクションで、新しいコンセプトの話も楽しく聴けると思います。ぜひ楽しんで聴いてください！

トークテーマ一覧 第1回（2023年8月11日）～第11回（10月12日）

- #11 「ライフシフト」～経験の蓄積（無形資産）が人生100年時代を生きる力に 10月12日
- #10 「キャリア」～“成功のため失敗しない”から“よりよい自分へ、更新し続ける”へ 10月5日
- #9 「アンコンシャスバイアス」～知らず知らずのうちに決めつけてしまっていない？ 9月29日
- #8 「遊び」～大人にも「遊び」は必要？ 9月21日
- #7 「コミュニティ」～イマドキの“つながっている関係”って？ 9月14日
- #6 「ESG」～これからのビジネスに希望はある？ 9月7日
- #5 「合意形成」～考えの違う人とも合意できるの？ 8月31日
- #4 「ケアする」～お世話、保護とケアはどう違う？ 8月24日
- #3 「大人の学び」～無理に勉強せず、楽しく学ぼう！ 8月17日 再生回数Best 1
- #2 「学ぶ」～知ることよりわからないことが大切？ 8月11日
- #1 「聴く」～「聞く」と「聴く」の違いは？ 8月11日



Spotifyで
隔週水曜12時に
新エピソードを
配信



FC東京のホームタウン担当としてスポーツと地域のつながりに取り組み、エンパブリックを経て、現在、渋谷区の地域スポーツのマネジメント団体「渋谷ユナイテッド」で地域スポーツや部活動の地域移行のモデル実施に取り組んでいる久保田淳が、まちづくりからみたスポーツの持つ可能性、スポーツが地域にできることなど、日々の活動の中で考えたことを、広石さんを聞き手に各回15分程度でお話しています。

トークテーマ一覧 第1回（2023年8月16日）～第5回（10月12日）

- #5 モデル事業を進め、広げるためのポイントを考えました 10月12日
 - #4 東京スタジアムで感覚過敏の子どもたちのための線サリールームを開設しました 9月27日
 - #3 渋谷区の部活地域移行にスーパーバイザーとして携わって感じた生徒の気持ち 9月17日
 - #2 23年夏のスポーツをふりかえり、スポーツを支える、応援する文化を考えました 8月30日
 - #1 部活動の地域移行が渋谷区のモデル校で動き始めています 8月16日
- スポーツを外から見て～introduction 久保田淳のこれまで



YouTubeチャンネル
@machi_faci
毎週水曜17時に
新エピソード配信



長野県が推進する地域に寄り添う対話と共創の場づくりの担い手「まちむら寄り添いファシリテーター」の活動紹介番組です。パーソナリティを、渡邊さやが担当。10/11に第12回を配信。毎回、長野県内の各地で、多様な分野、立場で活動する方を招き、活動で大切にしているキーワード、ファシリテーターとして大切にしていること、地域で担っていきたいことをお聞きしています。地域での人と人の関わり方、地域での対話の意義や可能性など、実践者にとってのヒントと学びが詰まっています。

Q. ネットラジオ (Podcast) はどうしたら聞けるの？

各番組のリンク、QRコードから番組のページに移動し、そのWEBサイトで聞くことができます。スマートフォンにSpotifyアプリをインストールする、またはiPhoneユーザーの方は元々入っているPodcastで検索いただき、フォローいただくと自動更新されます。作業や家事、運転しながら気軽に聴いてみてください。

あなたも始めてみませんか？

情報発信、関係づくり、コミュニティ醸成のツールとして、ラジオにトライしてみませんか？ empublicの取り組みを土台とすることで、あなたらしいプログラムを立ち上げることができます。また話す体験、MCの練習の機会として「Find the Question」も活用いただけます。お気軽にご連絡ください！